

はじめに

日頃より市民の皆様はじめ関係者の方々には、豊田市矢作川研究所の調査研究活動及び運営に、多大なるご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたび、1年間の調査研究成果を取りまとめた「矢作川研究No.25」を発刊することができました。これもひとえに皆様のご助力の賜と深く感謝いたします。

2020年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、社会の在り方が大きく変化してしまいました。当研究所でも2月に開催を予定していたシンポジウムをやむなく中止いたしました。研究成果を皆様へ広くお知らせし、新たな研究に向かって様々なご意見をいただく大切な機会を失ってしまい、とても残念で、申し訳なく思っております。紙面となりますが、シンポジウムで発表を予定していた内容を本誌に掲載しております（67ページから81ページ）。ご意見をいただけましたら幸いです。

2020年8月に愛知県の「矢作川上流圏域河川整備計画」が国の認可を受け策定・公表されました。この計画には当研究所が自然豊かな矢作川を引き継いでいくため策定いたしました「豊田市矢作川河川環境活性化プラン」から河川環境を整備・保全するための考え方や対策等が取り入れられています。引き続き当研究所としては、現在進めている河床環境の改善など環境面から河川管理者が行う河川整備のお手伝いをしていく考えです。

また豊田市はSDGs未来都市として持続可能なまちづくりを進めており、当研究所も持続可能なまちづくりに貢献できる調査研究を進めていきたいと考えております。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年1月

豊田市矢作川研究所 所長
酒井 齊